

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年6月17日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870500410		
法人名	医療法人社団 正信会		
事業所名	グループホーム ひまわり	ユニット名	西
所在地	〒315-0023 茨城県石岡市東府中1-10		
自己評価作成日	平成21年11月25日	評価結果 市町村受理日	平成22年6月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年1月26日	評価確定日	平成22年5月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

入居者と職員が共に楽しみながら季節の作品を作り、ホール等に飾ることにより和やかな雰囲気になっている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

全職員で考えた事業所独自の理念「優しい笑顔と思いやり」を玄関や各ユニットに掲示し、職員は利用者一人ひとりに寄り添いコミュニケーションを図っている。 植物や季節の作品を飾るなどで季節感を取り入れ、利用者が居心地良く過ごせるよう配慮している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスとしての理念を作り、常に意識を持てるよう各ユニット毎に掲示し共有している。	「優しい笑顔とおもいやり」との理念を全職員で考え作成し、玄関や各ユニットに掲示するとともに実践につなげている。 職員は地域密着型サービスの意義を理解し支援に取り組んでいるが、利用者の地域生活の継続支援と事業所と地域の関係性を重視した理念を作成するまでには至っていない。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念となるよう見直すことを期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には少人数ではあるが参加したり、近隣のコンビニに買物に出かけたり、隣接している病院とは入居者を受け入れる等して交流を図っている。	利用者は地域の老人会活動や花祭りなど行事に参加している。 事業所ではカラオケや手品、踊りのボランティアを受け入れているほか、事業所の納涼祭やコンサートに地域の人々に参加を呼びかけ交流を図っている。 交流のある近隣の病院から利用者を受け入れている。	事業所自体が地域の一員として自治会または町内会に加入し、地域と交流することを期待する。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	事業所の行事に参加を募る張り紙をしたり、民生委員との関わりを通して、地域の高齢者と繋がりが持てるよう取り組んでいきたい。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、委員と情報交換をしながら意見や要望を聞き、サービスの質の向上に活かしている。	運営推進会議は家族等の代表や市職員、在宅介護支援センター職員、民生委員、区長、事業所職員で2ヶ月に1回開催し、情報交換をしたり委員から意見や要望を聞くとともに、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。 会議では災害時の備蓄などについても話し合い改善している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の折や会議に出席し、事業所の実情や取組みを話し、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市担当者とは運営推進会議やグループホームの連絡会などで情報交換をしている。 管理者は市担当者に事業所の実情やケアサービスの取組みを話すなどで連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング時に身体拘束の有無を確認したり、身体拘束の内容や弊害を話し合い、基本的に拘束はしない方向で取り決めをしている。やむを得ない場合は、家族と話し合い同意を得ている。尚、そのときに応じ見直しを行い改善を図っている。	全職員が禁止の対象となる具体的な行為を理解するとともに、確認のために申し送りノートや介護日誌、身体拘束排除のためのマニュアルと一緒に置き、身体拘束をしないケアに努めている。 身体拘束排除のための取組みのポスターを玄関に掲示している。 やむを得ず車椅子のベルトやベッドの柵などを使用する場合は、家族等と話し合い同意を得るとともに見直しを図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法を学び、虐待の内容をミーティング時に話し合い、職員一人ひとりが意識を高め、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	講習会等で学ぶ機会もあり、入所時の契約の折に家族に説明し、まだ事例は無いが、必要性のある場合には支援していきたい。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所時の契約の際、納得頂けるよう十分な説明を行い、不安や疑問点には丁寧に答え、理解が得られた時点で契約をしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族が気兼ねなく意見や要望が表せるよう、玄関に意見箱を用意し、また家族の来訪時には話す機会をつくり意見をサービスの向上につなげている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、玄関に意見箱を設置している。 家族等の面会時には話し合う機会を設け、出た意見等をサービスの質の向上に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや日常においても職員同士で話し合いを持ち、意見交換をしながら職場に反映できるよう努めている。	管理者は月1回ミーティングを開催し職員と意見交換をしているほか、日常の会話の中で職員から意見を聞くように努め、出た意見等を運営に反映するよう取り組んでいる。 入浴支援時の職員の体制に不安があるとの意見を受け、他のユニットからの応援が得られるよう対応するなど、管理者は職員の意見を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員同士親睦を図りながら、働きやすい職場作りに努め、切磋琢磨しながら向上しようと努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各職員は仕事に支障の無い限り、研修会等に参加し、知識や技術を身に付け、サービスの質の向上に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修会にできる限り出席し、他施設の活動状況を学び、刺激を受けたり他のグループホームと交流し、学んだことをサービスの質の向上につなげるよう取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の話を良く聞き、不安なく安心して生活して頂くために信頼関係を築くよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族とは入所時に十分な話し合いを持ち、不安・要望には耳を傾け、日頃から気軽に来訪できるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者・家族との会話の中から、必要としていることを考え、対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者と職員が共に過ごし、余暇活動や行事を楽しむことにより良好な関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には利用者の様子を報告したり、家族からは以前の話しを聞いたりしながら、より良い関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の人や友人の来訪時には、気兼ねなく会話ができるよう配慮し、今後も関係が続くよう支援に努めている。	職員は利用者の知人や友人が来訪時にゆっくり話ができるよう配慮したり、家族等の協力を得て選挙や老人会活動などに参加できるよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者がその日の状態に合わせ、余暇活動や共同作業を共に行うことにより、コミュニケーションが図れるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者が退所した後も、必要に応じて関わりを持ち、相談にのれるよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の人間性を尊重し、その人の思いや希望を把握するよう努めている。	職員は利用者の人格を尊重し日常の会話の中で希望や意見の把握に努めている。 意思疎通が困難な場合は家族等に話しを聴いたり、利用者の行動により把握している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中から、利用者との関わりを持ち、生活歴やこれまでの暮らし方等を知るよう努めている。	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日常生活において利用者一人ひとりの動向に注意を払い、状態の変化や1日の過ごし方の把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを開き、利用者の思いや状態を話し合い、結果をもとに介護計画を作成している。			介護計画は利用者や家族等の意向を聴くとともに、月1回カンファレンスを開催したり3ヶ月毎にモニタリングを行い全職員で作成している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人ひとりの生活状況を記録し、情報を共有しながらケアプランやモニタリングに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族のニーズに柔軟な対応ができるよう、取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の各分野から協力を仰ぎながら、利用者が安全に楽しく暮らしていけるよう取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回外来受診と訪問診療を行い、6ヶ月に1回健康診断を実施している。また週1回訪問歯科受診があり、治療の必要な利用者や希望がある場合は家族の同意を得てから受診している。	利用者や家族等の意向を確認しかかりつけ医への受診を支援している。 協力病院から月2回往診があるほか、週1回の訪問歯科や年2回の健康診断があり、治療の必要な利用者や希望者には家族等の同意を得て受診を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療時、病院からの看護師に、気付いたことや健康管理に関して気軽に相談できる状況になっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時には協力医療機関の医師・看護師とは日頃から情報交換や相談できる関係づくりを行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者が重度化や終末期を迎えた場合、家族と話し合い意向を確認し、協力医療機関と連携を図りながら支援していく。</p>	<p>契約時に重度化した場合や看取りに関する方針を利用者や家族等に説明し同意を得ている。</p> <p>利用者の状態に変化が生じた場合は、段階毎に家族等と話し合い意向を確認するとともに、協力医と連携を図りながら支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変や事故発生時に備え、マニュアルを各ユニットに掲げ日頃から意識し、実践できるよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害に備えて、年2回総合訓練を実施し、昼夜を問わず利用者が避難できるよう取り組んでいる。また設備点検の折、全職員が消防に通報できるよう指導を受けている。</p>	<p>年2回防災訓練や夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、災害に備えて食糧や飲料水を備蓄している。</p> <p>避難訓練に地域住民の協力が得られるよう働きかけるまでには至っていない。</p>	<p>運営推進会議を活用し災害時に地域住民の協力が得られるよう、避難訓練への参加を呼びかけることを期待する。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、その人らしい日常生活が送れるよう配慮している。	職員は利用者一人ひとりの思いを尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃から声かけや話し相手になり、利用者が訴えたいことを引き出すことができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決められた日程の中で、その人らしい過ごし方を大切にし、その人の持っているペースに合わせて暮らせるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望に沿って衣類や身の回りの物を選んで頂いているが、意思表示のできない利用者には声かけをしながら選んでいる。散髪は本人希望に沿ってカットして頂いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	軽音楽を聴きながら食事を楽しんで頂き、後片付けはできる範囲で職員と共に行っている。	静かな音楽を流し利用者は職員と一緒に食事をしている。 献立に利用者の嗜好を取り入れたり、禁食に対応するなどの配慮をしている。 利用者と職員は一緒に後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事と水分量が確保できているか確認し、記録している。また禁食や好みにも対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者のペースに合わせて、毎日口腔ケアを行い、週2回義歯洗浄剤を使用し、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンをつかみ、声かけ・誘導し、できることは見守りをしている。	職員は利用者一人ひとりの排泄を記録するとともにパターンを把握し、早めに誘導してトイレで排泄ができるよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1日の水分量の確保と軽い体操を行い便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	プライバシーや羞恥心に配慮しながら、本人のペースで入浴できるよう支援している。	利用者一人ひとりの希望の時間帯やペースに合わせて週2回以上の入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに合った生活リズムで休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人ひとりの服薬管理表をつくり、職員が理解できるよう身近なところに掲げている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	余暇活動や屋外散歩に誘い気分転換を図り、利用者一人ひとりの役割や楽しみごとを支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節毎の屋外行事（花見・ぶどう狩り）や買物、家族の協力を得て外出できるよう支援している。	家族等の協力を得て、買い物や散歩など利用者の希望にそった支援をしている。 年2回利用者全員で花見やぶどう狩りに出かけられるよう支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買物に出かけた折には、支払いができるよう見守り、買物の依頼がある場合は本人からお金を預かり、用途や額を報告している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話が設置してあるが、希望する利用者にはつないだり、依頼があれば手紙の投函も支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールに季節の花や植物を置き、各ユニットには利用者と職員の共同制作した季節毎の作品を飾り、季節感を採り入れる工夫をしている。	共用空間に花や植物を生けるとともに、遊びリテーションで制作した季節の作品などが飾られ、居心地良く過ごせるよう工夫をしている。 窓は二重硝子を使用し、道路からの騒音が小さくなるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各居室は個室になっており、自分の時間を自由に使い、またホールではテレビを観たり、利用者同士雑談して過せるよう工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には本人の使い慣れた家具や馴染みの物を置き、その人らしく落ち着いて生活できるよう工夫している。	居室には仏壇や使い慣れた好みの物品が置かれ、居心地良く暮らせるよう工夫しているほか、洗面台が備え付けられており、利用者によっては朝の身支度を自分で整えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ、居室やトイレに目印になるものを置き、自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	1, 毎日ある ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームひまわり

作成日 平成22年 6月14日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員で作上げた理念を共有し、目標達成の為に一人ひとりが考え、質の高いサービスを提供していくという自覚が持てるかどうか。	職員が日常のケアに対して迷いや混乱があった時、理念を再確認し、少しでも現実の物としていく	各棟に事業所理念の他、地域密着型理念を作り誰もが見やすい所に掲げている。	3ヶ月
2	35	利用者の重度化が進み災害時の避難誘導にかなりの混乱が生じるのではと懸念される。	災害時だけでなく、利用者に周辺症状等が現れた場合にも認知症の理解と援助を働きかけていく。	災害時近隣住民の協力が得られるよう近隣の利用者家族、区長、民生委員に協力の要請をした。	次回の外部評価まで
3	2	数件の住民や近隣の店舗に町内会加入の有無を確認したがほとんどが加入していない為グループホームの加入は困難であった。	地域の理解を深めるためグループホームの趣旨や内容を広げていく。	近隣住民と関わりを持つ事を優先に手作りのパンフレットを配布し積極的にアピールしていく。	6ヵ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。